

# 【処遇業務標準化】

No. 1

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分 □ 基本業務 ✓ 機器取り扱い □ その他	制定年月 改訂年月	平成25年 2月1日 令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム スtein八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名	貯水槽について（減水・満水時の対応）
-----	--------------------

## 【概要】

八女の里では、井戸ポンプより水を汲み上げ貯水槽に水を貯水している。貯水層仕組み、減水・満水時エラーの内容とその復旧方法及び対応について以下に説明し、職員での周知を図るものとする。

多床室寮母室に貯水槽の警報盤が設置されている。警報盤の満水・減水ブザー反応時の対応について説明する。



左の写真は、多床室寮母室内に設置されてある、貯水槽の警報盤である。

警報が鳴った場合には、扉を開けて確認を行う。



警報盤に【満水】【減水】の表示があるので、どちらが点灯しているのかを確認しメモをする。

確認後、ブザー停止ボタンを押しブザーを止める。

警報盤のブザーを止めたら、原因を知るためにボイラー室裏にある貯水槽の確認を行う。  
満水ブザー点灯時、減水ブザー点灯時 の対応について説明する。



左の写真の○ 2つが貯水槽である。

※奥の白い貯水槽（FRP）はH20年に増設

※こちらの貯水槽は、ブザーとの連動はない

令和元年7月現在では、白の点線で囲んでいる部分にフェンスが取り付けられており、ワイヤーロックがかけてある。  
ワイヤーロックの開錠番号は【000】である。

※開錠し、作業を行った後は必ず施錠を行うこととする

# 【処遇業務標準化】

No. 2

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分 □ 基本業務 ✓ 機器取り扱い □ その他	制定年月 改訂年月	平成25年 2月1日 令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム スtein八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名	貯水槽について（減水・満水時の対応）
【満水・減水ブザー鳴動時対応】	※満水ブザー鳴動時は故障・異常の可能性が高い（ポンプの確認へ）
 <p>貯水槽（コンクリートの方）の上にタラップを使用して貯水槽の上に昇る、貯水槽内の確認を行う。上に昇るとマンホールがある為、マンホールを開けて中の確認を行う。</p>	
	
<p>カバーが外れ難い場合はペンチ等を使用する。マンホールの開閉工具は、ボイラー室外の扉より入った左側に置いてある。マンホールはロックが掛かっているので、開閉工具でロックを解除した後に持ち上げる。</p> <p>マンホールを開けると、左の写真のように中を確認することができる。減水のブザーが鳴った場合にはいつもより貯水槽内の水が減っている為、水の量を確認する。貯水槽内の壁やハシゴ等にいつも水がある箇所が濡れているので確認し明らかに水がない際には、ディ職員駐車場のポンプより水が上がってきてない可能性が高いので、確認をしに行く。          ※水がいつもぐらぐら入っているのにブザーが鳴った場合も故障かもしれない、その際にもディ職員駐車場</p>	
 <p>BOXを開けると制御盤がある。故障の際には故障のランプが点灯し、表示面にエラーコードが出ているので記録する。記録したら、一旦リセットボタンを押し、その後自動のボタンを押す。反応しなければ修理の依頼が必要なので報告する。</p>	

# 【処遇業務標準化】

No. 3

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分 □ 基本業務 <input checked="" type="checkbox"/> 機器取り扱い □ その他	制定年月 改訂年月	平成25年 2月1日 令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム スtein八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名	貯水槽について（減水・満水時の対応）	
-----	--------------------	--

【白の貯水槽（FRP）について】



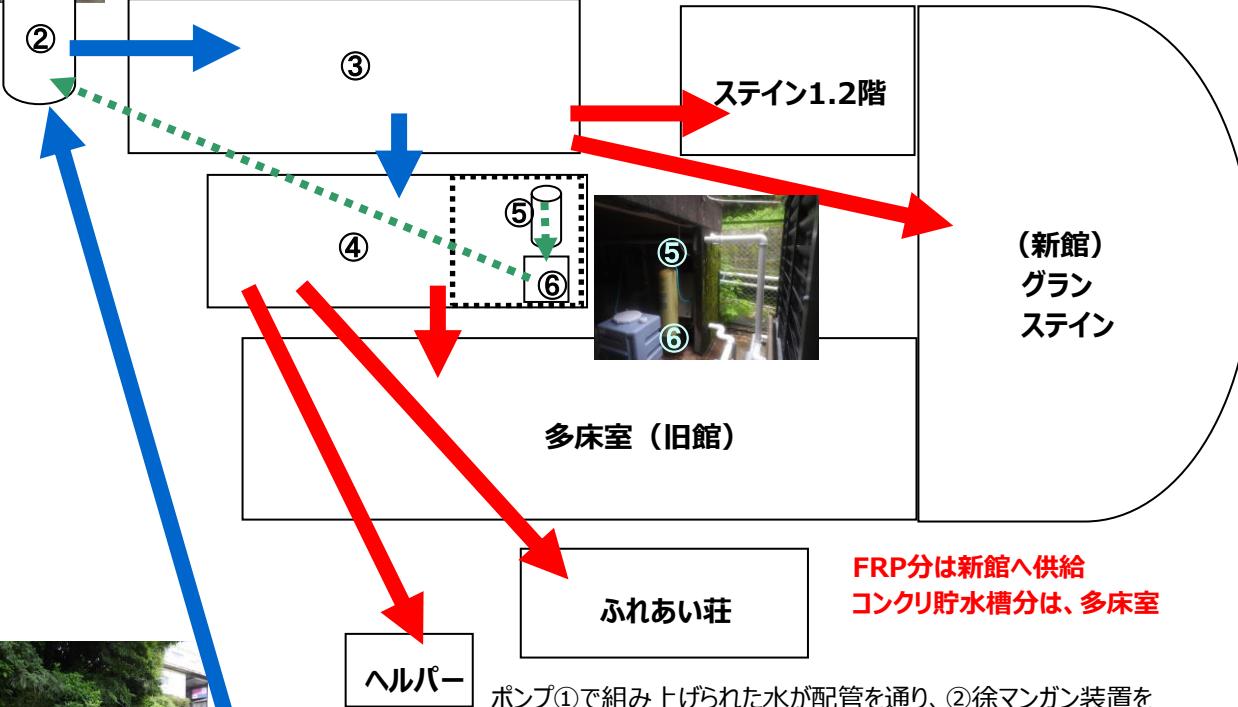
FRPも、貯水槽の裏手（山側）にあるタラップを使用し、貯水槽上に昇ることができる。  
施設内の水が出なくなった際には、FRPの減水もあり得る。  
蓋を開けて中の水位を確認する。  
水位が少なく、水の供給ができていない際にはポンプの異常が考えられるので、上記同様（減水時対応）の対応を行う。  
ポンプが故障し、水の供給ができない場合は、市水バルブを開き、応急的に水の供給を行う。  
※市水バルブは基本、常時【閉】となっている。  
ポンプ故障復旧後は、必ず閉めることとする。

【井戸ポンプ→ 貯水槽 → 施設内への給水について】

井戸ポンプで汲み上げた水が貯水槽に入り、施設内に供給される仕組みについて説明する。



①井戸ポンプ  
 ②徐マンガン装置  
 ③白の貯水槽（FRP）※写真とイラスト（図形）の番号は同一のもの  
 ④コンクリートの貯水槽である  
 ⑤軟水機  
 ⑥塩素注入装置



FRP分は新館へ供給  
コンクリ貯水槽分は、多床室

ポンプ①で組み上げられた水が配管を通り、②徐マンガン装置を通過（この際、徐マンガン装置に塩素を⑤⑥を使用し入れている）し、③FRPに入り、その後④コンクリートの貯水槽に入る仕組み。  
④の水量が減ると、③との間にあるバルブが自動開閉し、継ぎ足しを行う。→は施設内への供給区域である。

## 【処遇業務標準化】

No. 4

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム 八女の里	業務区分 <input type="checkbox"/> 基本業務 <input checked="" type="checkbox"/> 機器取り扱い <input type="checkbox"/> その他	制定年月 改訂年月	平成25年 2月1日 令和元年 7月
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型特別養護老人ホーム スtein八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> ユニット型介護老人福祉施設 八女の里			
	<input checked="" type="checkbox"/> 介護付き有料老人ホーム グラン八女の里			

業務名	貯水槽について（減水・満水時の対応）
【ポンプ異常を知らせる警報盤について】	
	

現在は、多床室寮母室内に入った右手側に井戸ポンプ異常時に感知し鳴動する警報盤が設置されている。

警報鳴動時には、ポンプ異常ランプが点灯する為、ブザーを停止し上記同様に井戸ポンプ制御盤の確認に行く。

必要であれば、リセットし再稼動（自動）を行う。





